

MITSUBISHI

三菱電機 室外ベース東洋防止ヒーター 取付工事説明書

安全のために必ず守ること

三菱電機株式会社

静岡製作所 〒422-8528 静岡市小鹿3-18-1

・取付け前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みください。

・ここに示した注意事項は安全に対する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

・お読みになつたあとはお書き込みのうえ見られる所に必ず保管してください。

付属部品（下側の取付図を参照して確認してください。）※取付け前に付属部品を確認してください。

形名	電圧	仕様	電力
MAC-638BH	100V		80W

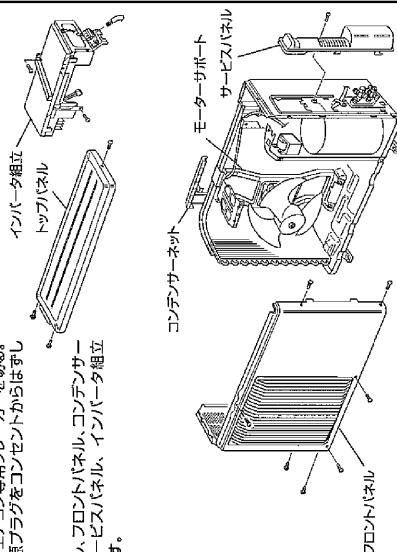
※安全のために必ず手など長尺を適用してください。

※電気部品に直接触れないで取扱い工事を行ってください。

※電気部品が濡れると、電気部品が濡れると、故障の原因になりますので十分注意して取扱い工事を行ってください。

1 ヒーター取付準備

- 最初に必ず、エアコン専用ブレーカーを切ります。または、電源プラグをコンセントからはずします。
- トップパネル、フロントパネル、コンデンサーネット、サービスパネル、インバータ組立を取外します。



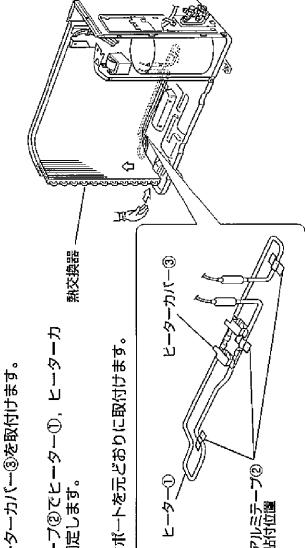
3 配線接続

※接線は配線図のとおり接続してください。

- インバータ組立から端子台とアース線を取外します。（アース線はネジで固定されています。）
- インバータ組立のツメ4ヶ所をリード線で固定されています。
- インバータ組立からリード線を取外します。

2 ヒーターの取付

- セパレーターのクランプを解いて、モーターのリード線をモーターサポートを取り外します。
- 國のように熱交換器の左下を持ち、熱交換器を少し持ち上げます。ヒーター①をベースのみに合わせて、熱交換器の下に差し込み、ヒーター③を取付けます。
- アルミテープ②でヒーター①、ヒーター③を固定します。
- モーターサポートを元どおりに取付けます。

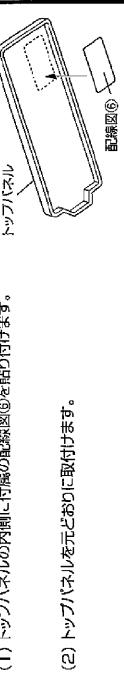


4 ヒーターの配線

※接線は配線図のとおり接続してください。

- 図のようヒーター①と外気温センターフランジとのリード線を同時にセパレータのクランプで固定します。
- ヒーター基板④に付いている接続線に、ヒーター①のリード線を接続します。
- インバータ制御基板に接続されていたコネクタ、リード線を元どおりに取付けます。（コネクタ位置の詳細は、ヒーター④のリード線を参照してください。）
- ヒーター①のリード線はリアクタや、配管に当たらないようにします。

- インバータ制御基板に接続されていたコネクタ、リード線を元どおりに取付けます。（コネクタ位置の詳細は、ヒーター④のリード線を参照してください。）
- インバータ組立、フロンントパネルを元どおり取付けます。ヒーター①ネット、サービスパネルを元どおり取付けます。
- ヒーター基板④のツメ4ヶ所から外します。
- ヒーター基板④をインバータ基板の上に止めねじで固定します。
- ヒーター基板④とインバータ基板との接続線が付いています。
- ヒーター基板④をインバータ基板の上に止めねじで固定します。



5 最後に…

- トップパネルの内側に付属の取締図⑥を貼り付けます。
- トップパネルを元どおりに取付けます。
- エアコン専用ブレーカーを入れます。または、電源プラグをコンセントに差します。

※室外ユニット付属部品のレンジホース内の接続の取り付けあります。（レンジホース内に接続の取り付けあります。）

△ 警告

- 誤った取扱いをしたときに、傷害または家財などの損害に繋がる可能性があるもの。
- お客様自身で取付けはしない。
 - 不構造があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
 - アース工事を行なう。
 - アース線は、力士管・感電・走査管・電話のアース線に接続しない。
 - アース工事に不適があると、感電の原因になります。

△ 注意

- 誤った取扱いをしたときに、傷害または家財などの損害に繋がる可能性があるもの。
- お客様自身で取付けはしない。
 - 指紋等による傷害などによつては、漏電遮断器が取付けられないなど、原因になります。

